



菊武学園フラッシュニュース

大学祭で慈善活動「しあわせレモネード」

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学 では、合同大学祭が 10 月 11 日・12 日に開催されました。今年のテーマは「彩祭（さいさい）」。その名にふさわしく、趣向を凝らした多彩なイベント、バラエティに富んだ模擬店が学内に並び、多くの市民の方も参加され、キャンパスは活気に包まれました。

大学祭のメインステージでは、11 日に「ガリットチュウ」「ですよ。」らによるお笑いライブの公演、12 日に「鯨ほこ連（阿波踊り）」の披露などが行われました。さらに、ダンス部や軽音楽部などの情熱あふれるパフォーマンスも行われ、若者や親子連れでにぎわう会場を大いに盛り上げてくれました。

子ども学科では、チャリティーイベント「しあわせレモネード 2025」を開催しました。この取り組みは、1996 年にアメリカの小児がん患者の少女を支援するために、ガレージで 1 杯 50 セントのレモネードスタンドを設営したのが始まりです。学生たちは、ペットボトルのレモネードを 120 本用意し、募金箱を手にして懸命に協力を呼びかけていました。集まった善意は、NPO 法人「愛知こどもホスピスプロジェクト」（名古屋）を通じ、重い病気や障害のある子どもが家族と過ごせる施設の開設に寄与されます。



（慈善活動を行う子ども学科生）

この内容は 10 月 12 日付けの中日新聞朝刊なごや東版で紹介されました。

文化祭「Break the Limit」

菊華高等学校 では、「Break the Limit ～ぶっとべ！菊華は超元気特区～」をテーマに、文化祭を開催しました。初の 2 日間開催となり、クラス出し物や模擬店を両日実施し、保護者にも公開するなど、学校全体が一体となって盛り上がりしました。

運営は、生徒主体で行われ、各分掌が横断的に連携しながら企画・運営を支えました。ゴールデンウィーク明けから始動し、運営メンバーを中心に有志の生徒も加わり、土日や祝日にも協力して制作物を作り上げました。暑い中でも、来場者に喜んでもらおうと汗を流し続け、有志メンバーによるダンスなども披露されました。今回は、個性豊かな文化祭をカラフルなジェット風船で表現し、全校生徒で一斉に青空へ飛ばす演出を行いました。

その一人ひとりの想いと努力のすべてが、菊華高等学校の最幸の「華」として咲き誇った 2 日間となりました。



（グリーンコート地球儀）



（ステージの様子）

1 年生初めての校内模擬挙式

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院 では、ブライダルビジネス科ウェディングプランナーコース 1 年生が初めてプロデュースを手掛けて、華々しいデビューとなる「校内模擬挙式」を行いました。1 年生初めての校内模擬挙式は毎年 10 月に実施し、今年は「原宿」「ジュエルペット」「DEAR」「Hunter's moon」という 4 つのテーマで行いました。

結婚式を作り上げるチームとして他学科の力も借りて、ドレス・ヘアメイクコースがドレスコーディネーターと挙式当日の新郎新婦のヘアメイクを、フラワービジネス科がブーケ・ブートニア製作を担当しました。

テーマ決めから役割決め、会場装飾、演出、進行の全てを学生の力で作り上げていきますが、初めてのことばかりで、苦戦しながらも当日を迎えました。スタッフ同士の情報共有や、全員の気持ちを一つに行動することがどれだけ難しいかを実感しながらも、練習を重ねて迎えた模擬挙式当日。各チームのこだわりが光る素晴らしい挙式ばかりでした。今回の経験を元に、次回以降の挙式も頑張ってくれることを願っています。



（模擬挙式を終えて記念撮影）



（模擬挙式の新婦）

「東区区民まつり」ボランティア参加

菊武ビジネス専門学校 では、本校生徒 10 名が 10 月 19 日、名古屋市東区区民まつり「なごやかまつり・ひがし」にボランティアスタッフとして参加しました。生徒たちが担当したのは、東区社会福祉協議会が運営する「水風船つり」ブースです。当日は、水風船づくりや、釣りに使う「こより」を子どもたちに手渡し役割などを分担して行いました。ブースには多くの子どもたちが訪れ、生徒たちは子どもたちに「やったね」「すごいね」と優しく声をかけ、笑顔でサポートしていました。地域の方々とふれあいながら祭りを支え、生徒たちにとっても充実した一日になりました。



（子どもたちに笑顔でサポート）

みんなでつくる！「学校祭」

豊橋宮野ビジネス高等専修学校 では、第 36 回学校祭が 10 月 25 日、盛大に開催されました。朝早くから多くの保護者や卒業生が訪れ、校内は熱気に包まれていました。メイン教室では、学年ごとに制作した動画の発表や、ファミコン（スパルタン X）の決勝戦が行われ、会場全体が一体となって盛り上がる場面が多く見られました。展示や体験型の催しもバラエティ豊かで、射的コーナーやヨーヨー釣りでは笑顔があふれ、大人も子どもも目を輝かせていました。

今回の学校祭は、仲間と力を合わせて作り上げることの尊さについて改めて学ぶ機会となりました。この経験を今後の学校生活にも生かしていくことを期待しています。



（学校祭を楽しむ生徒ら）

秋の遠足を楽しむ

菊武幼稚園 では、気持ち良い秋晴れの下、10 月 29 日に秋の遠足を行いました。子ども達は、3 学年を縦割りにして 3 人のグループを作り、秋の自然に触れ、季節の変化を感じながら、年少・年中・年長組と一緒に散歩をし、お弁当を食べることで異年齢児交流を深めることができました。場所は今年も川や用水が近くに流れる緑豊かで静かな「朝宮公園」（春日井市）で、年長児は行きは歩いて公園まで行き、年中児と年少児は幼稚園バスに乗って公園まで行きました。

記念撮影の後には、どんぐり拾いをしたり、広い公園で遊んだり、お弁当を食べたりして楽しい時間を過ごしました。



（秋の遠足の様子）

稲刈り体験と視覚障害者交流

稲葉保育園 では、5 月に田植えをしたお米が、ついに収穫の時期を迎えました。年長組の子ども達は、カマを使って一生懸命稲刈りをしました。その後は天日でしっかり干して、お米になるまでの大切な工程を体験しました。「早く食べたいな～」と笑顔で話す子ども達。自分たちの手で育て、収穫したお米を食べる日を、みんなとても楽しみにしています。

また、10 月 28 日には、視覚障害者の方との交流を行いました。点字ブロックには 2 種類あることや、日常生活で使用するシャンプーやリンス、缶ジュースやお酒にも点字があることを教えてもらいました。子ども達は、興味津々に話を聞いていました。



（稲刈りを終えて記念撮影）



（視覚障害者の誘導体験）